第305号
平成26年
11月23日

すまいるたうん

発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚　佳代子
TEL090-2657-0300

米一合がおにぎりに
繋がる命　繋げるフードバンク

「善意の輪をつなげたい」

2000年に発足したフードバンクは、炊き出しやそれを必要としている人たちへの食材提供、食材を媒介とした幅広いネットワークづくりを目的としています。

「まず、食の確保を」

バブル崩壊後（1990年）から生活困窮者が増えました。当時、山谷地区では40代後半～50代の野宿者の方であふれていました。

生活困窮者の方たちの不安は、食・仕事・医療など私たちの生活の根源を成す事柄です。現在も職を失い、住居を失い、健康保険の加入もできずに今も路上で生活されている方が多くいます。山谷は高齢の方が多く、新宿・渋谷・池袋は若い野宿者が多くおられます。

フードバンクでは、野宿者のための炊き出しを行なっている団体や母子家庭、DV被害者の女性や子どもの緊急避難所、障がい者の働く作業所、高齢者や精神障がい者の方のグループホームなど登録団体に毎月一回、全国から寄付された食材（米は300～500Kg）を配布しています。低温冷蔵庫を事務所内に設置し、集まった食材を管理保管し、玄米で送られた場合は、精米機で精米してから送ります。また、群馬県で一反の田んぼで米作りも行なっております。

毎日摂る食事のうち、たった一回分かもしれませんが、皆さんから寄せていただいた支援の気持ちが、こうやって手渡されていきます。

「困った時はお互い様
支援し合って共存を」

9日に行われましたフードバンクDAYではお米74Kg、調味料14本、缶詰46個、レトルト職員97個飲料水、お菓子の寄付がありました。

フードバンクでは皆様の寄付で成り立っています。食品やお米券、金券、現金の寄付も受け付けております。

◇お米
・平成24年度産以降のもの
・玄米・白米可※外国米（長粒米）不可

◇食品
・賞味期限が2ヶ月以上残っているもの
・日持ちするもの（レトルト食品・缶詰・調味料。乾麺・非常用食品・ペットボトル飲料）

お米一合でも一人の方の一食分となり、その方の空腹を解消することができます。

お米一合の優しさを分けて頂けますでしょうか。ほっこりした気持ちが湧いてくるのではないでしょうか。

フードバンク
東京都荒川区　東日暮里1-36-10
あうん気付「フードバンク」（オリンピック近く）
Tel：03-5850-4863 Fax：03-5850-4864
E-mail：food_bank2007@yahoo.co.jp
AM10時～PM5時30分（日曜　年末年始除く）